

当 面 の 日 程

	月曜組	火曜組	水曜組	木曜組	金曜組
2学期の終業日	12月15日	12月16日	12月17日	12月18日	12月19日
3学期の始業日	1月9日(金)	1月13日	1月14日	1月15日	1月16日

年末年始などの事務室閉室

12月26日(金)～1月3日(土) (学生祭の振替、年末年始)

第45回学生祭

10月25日・26日

学生祭を終えて

学長 飛田 洋悟

例年10月末の土・日曜日に開催される老大の最大イベント「学生祭」。今年も多くの方をお迎えして、盛会に終えることが出来ました。みなさん、よく頑張りましたね。そして、本当にお疲れ様でした。

オープニング、霞小学校の演技が始まった頃から雨が落ち始め、気が気ではありませんでしたが、なんとか二日間お天気が持ってくれました。開会式でも話しましたが、私は今回の学生祭を「感謝の学生祭」と名付けました。地吹校舎での学生祭は最後となります。私たちの老人大学は、50年もの間に11万人を超える学生がこの地で生涯学習を楽しんできました。それはこの間ずっと、地域の皆様が老人大学を温かく見守って下さったお蔭だと思っています。まず、地域の皆様への感謝です。

次に、みなさんが老大生活を楽しむことが出来ているのは、懇切丁寧に手ほどきして下さる先生、そして楽しくおしゃべりできるお友達がいるからです。このことに対しても心から感謝したいと思います。今回の学生祭を通して、改めて「感謝の気持ち」を見つめることができたとすれば、大成功だったのではないかと思います。

今年も学生の皆さんの展示作品や発表は素晴らしかったです。感動しました。来賓の方も「素晴らしいですね、とてもお上手です。」と感心仕切りでした。確かに、老大生の生涯学習はレベルが高いと思います。

そして、今回も多くの方が役割を受け持ち、終了後の後片付けまで責任を持って最後まで頑張ってくれました。一人一人が主役になる、という老大学生祭の特色が存分に発揮されていました。

こうして、現在地での最後の学生祭は、多くの方にご来場いただき、学生の皆さんやそのご家族、市民の方々の笑顔がたくさん見られた、本当に素晴らしい学生祭になりました。皆さんの頑張りに「感謝の気持ち」を込めて、心から拍手を贈ります。ありがとうございました。

老人大学のイベント

学生会副会長 藤谷 博子

第45回学生祭は、霞小学校の5・6年生による迫力ある踊り、「ソーラン節」で開幕しました。続いて私たちの演技発表、太極拳が始まると、空から大粒の雨が降り始め、10分間の中断がありました。その後、少しずつ空が明るくなり、予定通り演武を完遂する事が出来ました。

始まりは文字通り、雨に水を差されることになってしまいましたが、学生祭を目標に、各講座で今まで積み上げてきた日々の成果を十分に発揮でき、数々の素晴らしい作品の展示や体験コーナー、演技・演奏・歌唱等の発表につながったと思います。また、バザーなどもいつもの盛況で、賑やかで楽しい学生祭になりました。

これらの事は、学長をはじめ事務所の方々や元より、前日からの準備係、当日の係の担当者、そしてたくさんの方々のバザー商品を提供して下さい下さった皆様方などなど… 多くの方々のご協力のお陰であり、本当にありがとうございました。

こうして地吹校舎最後の学生祭は、幕を閉じました。地域の皆様、学生の皆様、本当にありがとうございました。

学生祭点描



バザーへのご協力に感謝！！

学生会会計委員 石井 洋二

本校舎最後の学生祭でも、多くの方々の人気を集めたバザー。

学生の皆様には多くの物品を提供して頂き、賑やかな品ぞろえとなりました。お陰で多くの来校者の興味を引き付けることが出来、大盛況でした。有難うございました。また、例年通り、本校の学生や家族、親戚、友人の方々だけでなく、多くの市民の参加を得る事ができ、また皆様との対話を楽しみながら、盛況のうちに終えることが出来ました。感謝と共に安堵しているところです。

このバザーの準備には、学生会を初め、多くの方々のご尽力があった事によるもので、大変感謝しております。

なお、売上は **626,668 円** でした。その用途は本部役員会で協議し、日々の学習に役立つ設備を教室に配備しての学習環境整備に役立てていきたいと考えております。

全員教養講座 一約 600 人の参加一

「被爆 80 年 文学に描かれた 8 月 6 日」



昨年、日本被団協はノーベル平和賞を受賞しました。この受賞は、被爆の実相を語り継ぎ、核兵器廃絶を訴え続けてきた長年の活動が評価されたものです。こうしたことを踏まえ、今年度の全員教養講座は、どの様な経緯で 8 月 6 日に広島に原爆が投下され、文人たちはどの様に表現したかを、広島大学名誉教授の岩崎文人講師が詳しく解説して下さいました。

講座資料の構成では、原爆が投下されるまでの経緯「A 1945 年・ドキュメント」「B 8 月 6 日・ドキュメント」が資料の末尾に記されていましたが、実際の講演では冒頭でこの話をされました。詳細な経緯について心情を含めて丁寧に話されたので、原爆投下の 8 月 6 日を実感することが出来ました。そこからは順不同でしたが、資料の「I 表現された 8 月 6 日」「II 表現への抑圧」「III 8 月 6 日以前の文学者たち」「IV それぞれの 8 月 6 日」「V 『黒い雨』と『重松日記』」「VI それぞれの文学碑」「①原爆文学を代表する文学者」に関して話をされました。とくに、「原 民喜」と「大田 洋子」の二人の文学者について、詳しく語られていたのが印象的でした。

岩崎講師の丁寧に作り込まれた資料に基づいた、深い洞察とともに語られる心のこもった講演に、学生の皆様も深く感動した様子でした。



委員長研修旅行 広島県防災航空センターと竹原 学生会副会長 國光 芳郎

10 月 30 日（木）、広島県防災航空センターと竹原・三原への日帰り研修旅行が行われました。福山駅前を 8 時 40 分に出発し、10 時 30 分に広島県防災航空センターに到着しました。防災航空隊の施設に入り、航空隊員から説明を受けました。それによると、平成 8 年度から防災ヘリコプター「メイプル」の運用が開始され、防災活動や捜索・救助活動などを行っているとの事でした。老生も、救助者吊り上げ用の装具を着用する体験をしました。また、ヘリに順番に乗り込んで、写真を撮ったりしました。

その後、竹原の「大広苑」で昼食を摂り、竹原街並保存地区を散策しました。竹鶴酒造にも立ち寄りましたが、「竹鶴正孝・リタ像」を見る時間が取れなかった事が悔やまれます。最後に三原を訪問し、二手に分かれて散策しました。私の組は最初は大島神社に参拝しましたが、神社からの三原市内と瀬戸内海の眺望は絶景でした。最後に三原市歴史民俗資料館を訪問し、三原のだるまの説明などを受けました。

その後帰路につき、予定時間より少し早く、全員無事に福山に到着しました。みなさま、ご苦労様でした。

環境整備

校内の美化を学生自らが実施して学習環境を整えるとともに、本校舎最後の学生祭をより良い環境で実施して、お客さんに気持ちよく楽しいひと時をともに過ごしていただくため、10 月 21 日（火）に午後の教科学生・クラブ員で環境整備を行いました。教室や正門周辺、庭園等を清掃・整理し、普段は手の届かない箇所まで綺麗にしました。

当日は天候にも恵まれ、日頃は清掃・整備の行き届いていなかった場所も、皆様のご協力で作業は円滑に進み滞りなく終わりました。有難うございました。

9 月 2 5 日

クラブ活動結果

☆【第 25 回 卓球大会】 10 月 1 8 日（土） エフピコアリーナにて

毎年恒例のエフピコアリーナでの卓球大会を、今年も実施いたしました。木・土曜日の週 2 回の練習で培ってきたスキルを発揮し、歓声が飛び交う楽しい大会となりました。

優 勝	志岐 龍起	山崎 輝敏	平川 正之
	河上 信枝	村上とし子	高田 義子
準優勝	岡田 巖	柳原 芳洋	鞆来 照芳
	早坂 幸枝	藤井 政子	藤井 和子
第 3 位	西原 正浩	近藤 純子	北川 真理
	藤岡三重子	妹尾ナツ子	清水 明子

☆【第 27 回 ペタンク大会】 11 月 1 日（土） 老生 グラウンドにて

今年は天候が定まらず、実施が危ぶまれましたが、日頃の練習の成果を発揮して、笑顔の絶えない楽しい大会を、無事に行うことが出来ました。



優 勝	三馬 徳子	沖本 富子
準優勝	飛田 洋悟	工藤 展子
第 3 位	赤繁 純子	八田 保江



おめでとうございます

○ 第 5 6 回 福山美術協会 公募展

福山市長賞	：	川崎 松生	水彩画	総合科 2・3 組		
ふくやま美術館賞	：	阿部 昇	水彩画	総合科 3 組		
佳作	：	村上 彰子	水彩画	総合科 2・4 組	俳 句	総合科 2 組
佳作	：	村尾 恕經	水彩画	総合科 1 組		
入選	：	甲斐 弘己	イキイキ体操	研究科 1 組		
入選	：	岡本 利男	茶道煎茶	普通科	スマホ	初級科 2 組
入選	：	田村 千春	水彩画	総合科 4 組		

○ けんみん文化祭ひろしま'25 文芸祭「俳句」

広島県議会議長賞	：	栗本 悦子	俳句	総合科 1 組
----------	---	-------	----	---------

新任職員の紹介

9 月 1 日に就任いただきました。



学長補佐 宇根 一成

9 月から福山老人大学でお世話になっています。

何事も決してあきらめず、挑戦し楽しむことが私の生き方。これまで知らなかった世界で今、たくさんの喜びを感じています。

みなさんの優しさ、温かさ、人との繋がりの大切さを実感する毎日、常に失敗を大事に、ぼちぼち、ゆっくり、ゆったりと。

好きな言葉は、「いのち、輝く！ No Child Left Behind!」